

生涯 楽習

だより

企画・編集：府中市生涯学習ボランティア「悠学の会」
共同発行：府中市文化スポーツ部文化生涯学習課
ふちゅう生涯学習センター共同事業体

第74号

2021年1月1日 発行

P1. 新しい年の講座案内
受講システム、注目講座①

P2. 注目講座②
ポイント＆講師コメント

P3. 「学びを楽しむ・学びを支える」
浅間山自然保護会 山田会長

P4 「ふちゅう東西南北」
編集部の「浅間山」探訪記



《今月の一枚》

—迎春—

一步でも半歩でも
今よりも前向きな
気持ちで
日々を過ごしたいと
願つて

「絵手紙きすぐの会」作品より

【府中市生涯学習センター 第4期講座】

「新しい運営システム」で開催！

新型コロナウィルスの流行の中、生涯学習センターでは、感染拡大の予防策を講じた新しい運営方式で、講堂講座やスタジオレッスン、トレーニング室の利用をすすめ、みなさまの学びのお手伝いをしてまいります。

新型コロナウィルス感染拡大に備える、
講堂講座の受講システム

以下のような新しい運営システムで、みなさまに安心していただけるよう努めてまいります。

(1) 受講者同士の感染を防ぐために間隔を開けて座っていただくよう、定員290名の座席を間引きして、当日座れる座席を提示します。受講の際には、ご自身で座席を選び、名簿に「座った座席の番号」を記入していただきます。



(2) 体温はあらかじめご自宅にて検温し、平熱である事を確認しご来場ください。体温が37.5℃以上または体調がすぐれない方、マスク等の着用をされていない方のご入場は固くお断りいたします。ご了承ください。

(3) 講座座席表は受付前に掲示していますので、座席番号を確認の上お座りください。

みなさまのご受講を、心よりお待ちしております。

2020年度 第4期 教養・生活実技講座の詳細は、

「府中市生涯学習センターのWEBサイト」をご覧ください。

https://fuchu.shogaigakushu.jp/?page_id=3324



新年から受講を始めるなら……

1～3月開講の注目教養講座 ①

① 万葉集・古代のドラマ 全5回

[1/10日・17日・24日・31日 2/7日]

講師：今野耕作氏

(元埼玉大学理事／上代文学会会員)

受講料：3,500円 募集定員：138名



〈おすすめのポイント〉 万葉集は天皇から庶民までの真情歌を集めた日本最古の歌集です。その編纂は持統天皇の頃から始められ、何度かの編纂を重ね、平城大同年間（806～810）に、ほぼ現在に見る「万葉集」に落ち着いた歌集です。今回の講座では、万葉人が憧れた遠つ世（古事記中巻）近つ世（古事記下巻）の伝承歌から万葉人の歌を読み解き古代のロマンを学んでみます。

④ 東京農工大学連携講座 全1回 [1/19火]

「新型コロナウィルスに立ち向かう」

講師：水谷哲也氏（東京農工大学教授・

国際家畜感染症防疫研究教育センター長）

受講料：1,000円 募集定員：138名



〈おすすめのポイント〉 新型コロナウィルスの拡大が深刻化し、ワクチン開発が急ピッチで進んでいますが、投与まではしばらく時間が必要です。ならば、それまでの間に如何にコロナに対処するか、鉄壁の予防策を十分に学べば、必ず自分の力でコロナに打ち勝つことが出来るはずです。その方法を学んでみませんか。

★上記講座はいずれも<時間：14時～16時><場所：講堂>

★ 2面にも「1～3月開講の注目教養講座②」を掲載しています

新年から受講を始めるなら……

1月～3月開講の注目教養講座 ② 講師からのコメントもあります！



5 NHK交響楽団員によるクラシック講座

全6回 [1/29金 2/2火・19金・22月 3/8月・12金]

講師：NHK交響楽団 団員

受講料：5,500円 募集定員：138名

＜講師より＞新型コロナウィルスの感染拡大防止のために、多くのN響が関わる演奏会等が中止になりました。この府中での講座は、N響の演奏家が毎回、人をかえ楽器をかえて講演するので、他のN響が関わる演奏会とは違って、演奏家本人も是非参加したいと思っている講座です。各回とも工夫を凝らしていますので、演奏とトークをお楽しみいただけると思います。

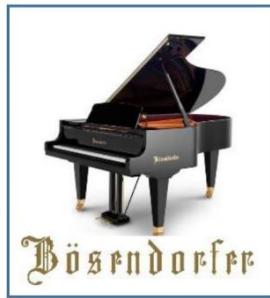
7 名器ベーゼンドルファーで奏でる演奏とトーク 『ベートーヴェンとウィーンの作曲家たち』

全3回 [2/20土 3/6土・30土]

講師：富岡紀香氏（ピアニスト）

受講料：3,500円 募集定員：138名

＜おすすめのポイント＞1台、1千万円以上はする「ウィーンの至宝」名器ベーゼンドルファー。勿論、その値段は名工たちが手塩にかけ、伝統の音色を作り上げた芸術作品だからです。多くの名ピアニストが競い合い、我先にとオーダーした伝説の名器ベーゼンドルファー。いよいよ、この学習センターにも初登場します。ピアニストは、ベーゼンドルファーが認めたウィーン期待の富岡紀香さん。楽しいウィーン紀行を語りながら、艶やかな美しい音色をお届けします。



◎教養・生活実技講座から

19 ウィルスに立ち向かう「細胞力」を高める、 身心一体科学から健康寿命を延ばす

全2回 [1/15金・2/22金]

講師：跡見順子氏（東京農工大学客員教授）

清水美穂氏（東京農工大学准教授）

受講料：2,000円

場所：4階きすげ 募集定員：20名

＜講師より＞新型コロナウィルスの感染拡大が続き、収束が見えず不安が募るばかりですが、ワクチンの開発を待っていては自分で自分の命を守れません。自分で命を守るには、自分の身体の細胞が、ウィルスに適応し体内に侵入してきてもウィルスを撃退することができれば、きっと新型コロナにも勝つべく方策を見出すことができるかも知れません。どの年代の方でもできる簡単な柔軟運動も取り入れてお教えしますので、是非楽しみにしていて下さい。

6 けやき寿学園

「生き方いろいろ、人生を楽しむには」

全3回 [2/9火・14日 3/4木]

受講料：無料 募集定員：138名

①の講師：舞踊家 平原慎太郎氏

＜講師より＞新型コロナウィルスの感染拡大を受けて外で体を動かすことができない今だからこそ、自宅でも脳を活性化できる動き方をアドバイスします。

②の講師：ギタリスト 林竜也氏

＜講師より＞ギターは、鎮魂歌を伴奏する、舞踊曲を伴奏する、バラードを伴奏する、あらゆる場面で喜怒哀樂を表現する万能型演奏楽器です。セッションする人や楽器によって、これほどまでに表情変えることができる楽器は他にはありません。ギターの魅力に浸ってください。

③の講師：江戸紙切祝芸 桃川健氏

＜講師より＞江戸紙切りは、春夏秋冬を実に季節感を出して表現できる紙切りの最高峰です。かつて、江戸時代には祝い事の縁起物としても一座でお抱え芸人を蓄えていたほどです。古典芸能の一つでありながら、現代のモチーフにも柔軟に合わせられる時代の優等生といわれる芸目です。笑いも得ながら、時代の風潮にあった作品もお見せできると思います。

10 笑顔で日々を過ごす「5つのキーワード」で、 ごぼう先生と1・2・3！ 全1回 (3/19土)

講師：ごぼう先生 築瀬寛氏

受講料：1,000円 募集定員：138名

＜おすすめのポイント＞テレビでお馴染みの介護の「G O」予防の「B O U」の「ごぼう先生」が府中で講演。頭と体を元気に、笑顔と活力あふれる講座になることは、間違いありません。どうしたら、今の元気を笑顔で維持することができるのか？マスクをしながら、家にいながら無理なく体を動かす方法も教えてくれます。



★ご紹介した講座はいずれも<時間：14時～16時>

生涯学習センター2020年度第4期（1月～3月）では、ここに紹介した講座を含め44の講座を開講します。詳しくは生涯学習センター発行のパンフレット、またはホームページをご覧ください。

「悠学の会」Webサイトのご案内

府中市生涯学習ボランティア「悠学の会」の活動状況や活動成果を掲載しています。

<http://yuugaku.tokyo/>

（「生涯学習だより」バックナンバーも掲載中です）



学びを楽しむ 学びを支える その(4)

浅間山大好きの山田さん 元気！に 草木・花を語る

浅間山自然保護会 会長 山田義夫さん（浅間町在住）

定年後すぐに浅間山の自然保護活動に参加した山田さん。80歳を目の前にしても、精力的に活動を続けておられます。その思いを聞きました。



— 浅間山自然保護会との関わりは、いつ頃から

浅間山で草花の写真を撮るうちに、自然保護会の方々と知り合い、61歳の時に誘われて入会して18年。その後会長としてもう10年が経ちました。

— どのような活動ですか

浅間山自然保護会はメンバー34人。一緒に、個々に、日々草木の育成・管理・維持を行なっています。

浅間山は様々な人たちとのコミュニケーションがとれる場となっています。巡回しながら案内をしたりして、多くの人達とのコミュニケーションをさらに増やしていきたいと思っています。

各地でしだいに無くなっていく貴重な草木がここには残っています。昔からこの近所の人達に保護され、残されているのです。草木に対するマナー（接し方）が良かったからだと思います。

今では浅間山には多くの人達がかかわっています。この地域の小・中学校でも地域ぐるみで生徒を育てていきたいとして、浅間山の清掃などを行なっています。中学校は生徒会が中心となって活動し、小学校は父兄も参加しています。それらを通じて、地域の人達の出会いの場、街での声掛けができてきて、グループができたりしています。我々もその支援を行なっています。

保護会の作業活動を見て、この地域の人達もそれに参加して草木を大切にし、さらに小鉢に草花を増やし、通る人に分けてあげたりしています。

昨年の19号台風で倒木が多く出ましたが、浅間山に隣接する明大野球部の監督が学生を引き連れて、倒木をカットしたり、片付けたりしてくれました。地域の人達の浅間山への係わりが見えました。地域の人達が支える浅間山と言えるでしょう。

みんなの集う所にしたいと思っていましたが、今は車いすであずまやまで行けるようになりました。それに、保育園や幼稚園の方が子供たちを連れて登ってきて、遊ばせています。

府中市唯一の山からダイアモンド富士を見ようと、日没のはるか前の15時頃から人が集まっています。

次は1月21日頃です。初日の出と初詣にも200人以上の人が集まります。万歳三唱し、お神酒がふるまわれます。



冬晴れの日には、浅間山から富士山がくっきり見える

山田さんのプロフィール

26歳から浅間町4丁目の住人。もうすぐ80歳とは思えないハツラツたる行動の人。

若いころから写真を撮るのが趣味。草花を道に腹ばいになって写したり、浅間山を中心に撮ってこられたそうです。定年後は草木の育成・管理・維持が生きがいとなり、その場所が大好きな浅間山。

— 特別な思い入れがありますか



2つあります。

- ①浅間山を通じて地域のコミュニケーションの場を拡大していきたいと思って常に活動しています。
- ②豊かな自然を保護し、しっかりと残すことです。

— 自然を守ることとは

浅間山には自然がそのままで残っています。いつも大変気持ちの良い場所です。そこをきれいにするだけではなく、さらに保護していかねばなりません。その中で、管理をする場所と自然を保つ場所をわけて守る必要があります。今は異常気象などで希少植物が減っています。増やさなければならぬと株分けをしたりしています。新芽が出ると大きな充実感があるのです。

さらに加えるなら、浅間山は草木を残しているので、鳥の隠れ家となっています。それを保っていきたいですね。

— 活動をしての充実感、楽しみなどは

活動を通して得た私のモットーは、『「好き・嫌い」ではなく「ウンと好きか・好きか』で生きています。それが出来る場所なんです。



私の元気の大本は草刈りにあると思います。それにより、癒され、健康を維持できているのです。

— 今後の取り組みなどをお聞かせください

今やっていることを充実させ、自然と多くの人達とのコミュニケーションを深め、大切な場所であるとの認識をさらに深めたい。来た人が大自然に感激して帰る、コミュニケーションがとれるようになって帰る、そんな場にしたいと思っています。それから、会員をぜひ増やしたいのです。仲間になりませんか。

(文：鈴木禎治)

ふちゅう東西南北

知っているようで知らない「浅間山」探訪♪



せんげん山公園

コロナ禍で、散歩ついでに訪れる人が多くなったという浅間山。府中で唯一の「山」ですが、案外知らないことが多いように思います。

そこで、編集部メンバーで登ってみることにしました。

初めての人、何度も登った人、いろいろな発見や感想がありました。



《整備がすすんだ浅間山》

府中市に移り住んでまもなく、その名に誘われて浅間山に登ったのが40年前。久しぶりに行ってみて、隔世の感あり。とても整備された散策路、樹木、等々、こんなにきれいな場所だったのか！當時はただの山道、「山というには？」で、府中市的一名所位の印象が、すっかり変貌していた。親子連れ、近くの保育園児なども訪れて、新しい山がそこにあった。（渡邊）



《浅間山に行ってみた》

浅間山に行ってみた。夏の名残はすでに消え、色づく秋はいまだ来ず、曇天のため富士見えず、見るべきものがないと言う。こんな季節のはざまにも、称賛されることもなく、ひっそり小さな花咲かせ、枝葉茂らす草もある。そんな姿に人生を、ぼんやりと垣間見た。そんな気がして帰路に就く。（中井）



《ビルの向こうに富士山》

2回目の浅間山登山（？）。ビルの向こうに富士山を…と期待したが残念ながら見えなかつた。次のダイアモンド富士は1月の21日頃だそうだ。例年浅間山から多くの人達が西南の方向に目を凝らしているが、なかなか見えないという。21日頃の、何とか見えそうな日に夕・夜登山を敢行しよう。でもあの公園は夜のライトは整えられているのか心配だ。帰り道が真っ暗では山道は危ない。浅間山自然保護会の山田さんに聞いた「夜間照明はない」とのこと。見たらすぐ降りよう！（鈴木）



（井口）



《みごとな桜》

浅間山を15分ほど登っていくと人見四郎の墓跡がある。そこから北側の階段を下っていくとイヌザクラというみごとな桜の大木がある。1本の木で根元付近から10本近くに分れている。多磨霊園や府中の森公園でも見たことがなかった巨木です。



きっと春には新緑の浅間山に彩りを添えてくれることでしょう（井口）



《浅間山の保護活動に感謝》

秋の深まる十月の中頃、私達は浅間山に登りました。男道から堂山へ、落葉がザクザクと音を立て静かな空間を賑わせています。直ぐの整えられた山道の奥からは楽しそうな園児の声も…。尾根道からあずまやに向かう足元には昔懐かしいイヌタデ、ミズヒキ、ノハラアザミ等を見て亡き母との想い出に耽りました。後日、浅間山自然保護会の山田様に活動のお話を伺い、協力者の皆様に感謝です。今後は四季彩々の浅間山を更に愛したいです。（柴田）



《初「浅間山」で感じたこと》

初めて浅間山に登って植生の豊かさを感じました。散策してみると土壤の良さがわかります。適度な湿り気と柔らかな土が、この豊かさを支えているのでしょう。土むき出しの道は歩きにくい所もありましたが、腰や膝にはありがたいものです。こんなふうに土を感じられる所が身近にあるのはいいですね。是非残して欲しいです。

「浅間山」は里山の雰囲気を残す貴重な公園です。みんなが大切にしていけば、私たちの健康にも府中の豊かさにも繋がっていくと思った登山でした。（山田）

編集後記 この号の3面と4面で、浅間山公園を取り上げました。浅間山は、富士山が見えることから浅間神社が祀られその名がついたといいます。でも、案内図には前山、中山、堂山の名前しかない、こんなことも現地に行くまでは知りませんでした。動いて初めて知ることが多いですね。みなさんも是非！（西谷信昭）